

支那労働者連合機構

六月二十日第三回中央労働連合会は、上海南京路事務所を会場として、支那全土に行はれたる、反前國主義の暴行に運動に對し、吾等評議会として之を聲明すると共に、三田附帯評議委員を派遣して支那の各労働団体を訪問せしめ、評議会創立大会の極東労働者機構に關する決議案に日支兩國労働者の提携に對する希望を陳述せしめた。

この訪問並に故の反前國主義運動に對し、聲明せる吾々の態度は、支那の労働者彼に多大なる感動を與へ、支那に於ける全國的の一大労働団体たる「中華全國總工會」上海總工會は七月十日、上海總工會本部に臨時總會を開き、日支労働組合提携促進の決議を爲し、その決議文を代表に托して、吾等評議会に送り尚全文のものを送同盟へも送達する機體となつた。

第五回常任委員會議はこの決議文を總工會の希望に賛成し、一通を送同盟に傳送すると共に、其全文を機關紙「労働新聞」第四号に掲載し一級會員に報告した。このことを評議会として支那労働組合との友誼關係は發達せり、現在機關紙並に出版物の交換を行つてゐる。

ロシア労働代表招待

七月二十日第三回中央労働連合会は、評議委員會議は、他國及団体と協力を以て支那支那に未だ中絶せらるる労働界の國際労働者代表委員會議をロシヤ労働組合代表を日本に招待することを決議した。

而して改革の案は日本に托くこと同議決し、云々區部に檢し、吾等日労働者を招待する。是は尙然然と思つてゐた。然るに九月十七日突如レバ七氏も日本に來訪する云々電報に接した。そこで幸ひ、大阪に開かれ、おれは産院労働委員會議と同議決委員會議に出席せる全國の各労働団体の代表に其の旨を發表し、其の備九日レバ七氏一行を迎へり、其の意を察した。結果、手に各代表の同意を得、吾等評議会は、更めて各組合へレバ七氏來朝の案内状と懇談會準備の依頼状を送つた。

而して吾等評議会は、九月二十日、白井の四若水下間に一行を來迎へ、秋田縣來賓に案内した。途中、秋田、山形、大田、京都、各評議委員、秋田に於ては、各評議委員の代表が、吾等一行を來迎へた。奉して着て、秋田、山形、大田、京都、各評議委員、秋田に於ては、各評議委員の代表が、吾等一行を來迎へた。